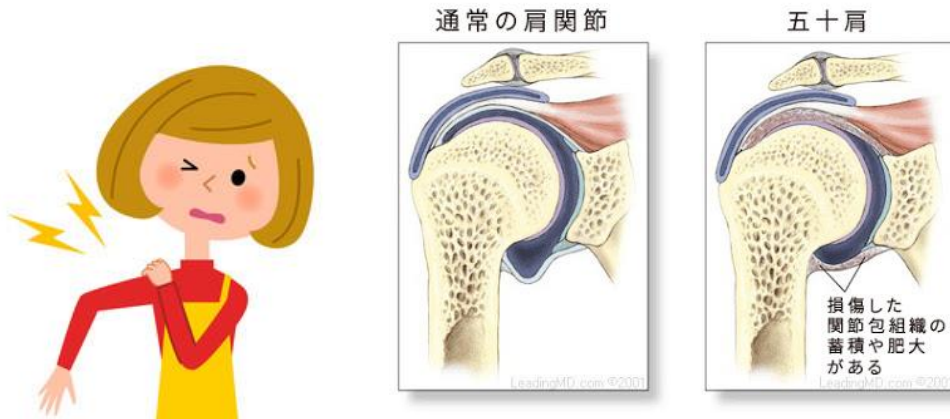


凍結肩に対するサイレント・マニピュレーションの説明書・同意書



凍結肩（肩関節拘縮）とは

何らかの原因で肩関節の動きが悪化し、動かすと痛かったり、夜間の痛みのために眠れなくなったりする症状です。肩関節周囲炎（五十肩）がこじれた場合などに起こります。リハビリをしても症状が良くなるまでに2～3年かかることもあり、半数の人は症状が残るとの報告もあります。

原因・病態

機能障害による炎症→痛みのため動かさない→関節が硬くなる（拘縮）→炎症→・・・の悪循環が原因で肩関節を包む関節包という組織が厚くなり、縮んでしまうと考えられています。

治療

まずは肩関節の可動域訓練や肩周囲筋のストレッチ、関節外モビライゼーションなどのリハビリ（通院および自主練習）や、炎症を抑えるための鎮痛薬、物理療法、肩関節内注射（トリアムシノロン+局所麻酔）などの治療を行います。このような治療を継続しても数か月～1年ほどで改善しない場合や、凍結肩になってから時間が経っている場合、患者さまが早期回復をご希望の場合などは、マニピュレーション（関節受動術）を行います。

マニピュレーションには、当院外来で行うことができる日帰りのサイレントマニピュレーション（非観血的関節受動術）と、入院と全身麻酔が必要な関節鏡視下関節受動術（関節包を内視鏡で切る手術）があります。いずれの治療も拘縮の再発の可能性があります、施行後も十分なリハビリが必要となります。

サイレントマニピュレーションとは

エコーガイド下神経根ブロックで肩を確実に麻酔し、非観血的関節受動術を行う方法をサイレントマニピュレーションと呼びます。まず外来で超音波エコー下に安全に肩関節周囲の痛みをとる麻酔を行います（もちろん全身麻酔ではありません）。15分ほどベッドに前かがみで座って待っていただくと肩関節周囲から肘にかけて麻酔が効いてきます。注射した腕全体の位置感覚が一時なくなる方もいますが心配はいりません。痛みが軽減した状態で医師が肩関節を動かし縮んだ関節包を広げ、関節の動きを改善します。意識がある状態で行い、その日のうちに帰宅できます。麻酔がよく効くと肩から腕にかけて力が全く入らなくなる方もいますが数時間のうちに麻酔は切れます。そのため三角巾で腕を吊って帰宅い

ただ場合もあります。帰宅後に痛みが強くなるように施行後に肩関節内に痛み止めの注射をします。翌日からリハビリ加療を始めます。この処置はあくまでも肩関節を動かすための基盤を作るもので、運動療法に取り組みやすくすることが目的であり、可動域を改善するにはその後のリハビリ加療を継続して行うことが最も重要となります。

サイレントマニピュレーションの適応となる方

肩関節の動く範囲（可動域）の制限が強く、夜間痛などがあり、保存療法で効果が見られない方

適応とならない方

80歳以上の女性、あるいは骨粗しょう症で骨折の既往がある方

局所麻酔剤にアレルギーのある方

慢性の呼吸器疾患がある方

実施後に頻回のリハビリ通院が困難な方

合併症と対策

(1) 感染：非常にまれですがマニピュレーション施行の前に行う麻酔の注射によって菌などが侵入することがあります。感染症を起こさないように注射部位の徹底した消毒を行います。

(2) 脱臼・骨折：動きが硬くなった肩関節を動かす際に上腕骨骨折や肩関節脱臼を起こす場合があります。高齢の女性や骨粗しょう症の方に起こることがほとんどのため、施行前に危険性がないかを医師が判断します。骨粗しょう症が疑われる方では、まず骨密度検査などを行ってからサイレントマニピュレーションが可能か判断いたします。

(3) 神経麻痺：まれですが肩の近くを通っている神経が、肩が急に動くようになることで麻痺してしまう可能性があります。麻痺が起こると腕や手が動かなくなったり、感覚がなくなってしまうます。

(4) 局所麻酔剤を使用するためにまれにふらつきや血圧低下、呼吸苦などの症状が出現する場合があります。状況により点滴を行いしばらくベッドで休んでいただくこともあります。

(5) 再発：マニピュレーション直後は可動域が完全に回復しても、その後のリハビリがうまくいかななどの場合に拘縮が再発し、もとの拘縮状態に戻ってしまうことがあります。

一般的なサイレントマニピュレーションの所要時間

外来滞在時間は 1.5～2 時間前後です。

施行前の診察と準備（20分ほど）麻酔処置（15-20分）、15分ほど麻酔が効くまで座って安静、マニピュレーション施行（15-20分ほど）、超音波エコーで確認後、関節内に注射（10-15分）

時間に余裕をもって行うために施行予約日・予約時間を決めて行う場合もあります。

麻酔後は、肩や肘に力が入らない状態になりますので、当日はご自身で車を運転して来院いただくことはできません。

治療期間

術後のリハビリ、定期的な診察や注射など3カ月程度の通院が必要です。

同意書

医療法人社団
間庭整形外科医院 殿

私は「凍結肩に対するサイレント・マニピュレーション」の説明を受け、治療内容と起こり得る合併症を理解し、治療を受けることに同意します

令和 年 月 日

患者氏名 _____

説明医師 _____